



# 九州自然歩道を歩こう

(その2)

九州の豊かな自然と歴史、文化財などを結んで九州を一周しようとする九州自然歩道は、東海自然歩道に次いで全国で二番目の長距離自然歩道として、昭和五十六年三月に完成しました。

全体では総延長二千三百七十七キロメートル、総事業費二十二億三千万円で起点、終点を設けない回遊式の歩道として九州全体（沖縄県を除く）を結んでいます。

コースは、山岳、高原、海岸などの他ローカル色豊かな歴史的な文化財などを結んでおり、景勝地、休養地、都市近郊などバラエティーに富んだ設定がなされています。

更に利用しやすいように、日帰りコース、一泊二日コース、また健脚向きコース、家族向きコースなど十二のモデルコースを設定しています。今回は五コースを御紹介しましょう。

眺望のすばらしさ  
野鳥の声も楽しい

## 小岱山探勝コース

<家族向き・日帰りに>

延長 十二キロメートル、所要時間 四時間前後  
(コース) 玉名温泉⇄蛇ヶ谷公園

筒ヶ岳山頂近く

⇄笹千里P⇄丸山展望台⇄観音岳⇄荒尾展望台⇄筒ヶ岳⇄四ツ原登山口⇄鬼王  
(あし) 玉名駅から玉名温泉まで産交バス十分、玉名駅から鬼王(四ツ原)まで産交バス三十分  
このコースの起点(終点)玉名温泉は約千二百年前、一羽の傷ついた白鷺が湯けむりで傷を癒し、元気に飛び立つのを見たある長者が発見したと伝えられる古い温泉です。

温泉街を抜けると、蛇ヶ谷公園に出ます。公園にはサクラ、ツツジなど各種の樹木が四季折々の色あいを見せてくれます。ここから山道になり約五十分で笹千里につきますが、笹千里には、駐車場も完備しており途中からの利用もできるようになっていきます。更に三十分で丸山展望台に着きます。ここからの眺望は素晴らしく、玉名市街、金峰山、遠くは雲仙岳まで眺めることができます。

また近くには、キャンプ場もありますので職場のサークルや家族連れでの利用に最適です。  
超宗派の霊場八十八ヶ所巡りのコース観音岳、小岱山系で最大の草原台地、荒尾展望台を経て筒ヶ岳に着きます。桃山時代、豪族小岱氏が筒ヶ岳城を構えたところですが、ここに周囲約五メートルの大きな岩があります。その下は井戸になっており、筒ヶ岳落城の折財宝を埋めたとの伝説が残っています。樹木の中の岩を眺めていると、軍馬の響きやときの音が聞こえてくるような錯覚に襲われます。

雑木林の野鳥の声を聞きながら、急坂を下り四ツ原登山口を經由して終点(起点)の鬼王まで一時間二十分です。  
コースの近くには、世界一の大梵鐘がある蓮華院奥の院があり信仰を集めています。訪ねるのも面白いでしょう。

## 幻想的な灯籠の灯 古墳といで湯の里

### 山鹿日輪寺 コース

<家族向き・日帰りに>

延長 十七キロメートル、所要時間 四時間半〜五時間  
(コース) 産交バス山鹿営業所⇄日輪寺⇄不動岩⇄蒲生池⇄鹿本町(あし) 熊本交通センターから山鹿まで産交バスで一時間、鹿本町来民中町まで五十五分  
「山鹿千軒たらいなし」といわれる湯量豊富な山鹿温泉が起点(終点)です。  
例年八月十五日から十七日の山鹿灯籠祭は、夜遅くまで全国から



義士遺髪塔

の観光客で賑わいます。頭に紙と糊だけで作った紙工芸の極至といわれる灯籠を冠り踊る、「千人灯籠踊り」は圧巻です。またこの灯籠は土産品として全国に販売され好評を博しています。

日輪寺までの途中には、弁慶ヶ穴古墳が、また近くには鍋田横穴、チブサンなどの装飾古墳もあり、いずれも国の史跡に指定されています。なお装飾古墳は全国で二百五十五基発見され、そのうちの四十%が県内のものです。

コースにある日輪寺は寺記によれば、国司尾藤隆房により天慶三

年(九四〇)建立され、当初天台宗でしたが菊池武時が正和五年(一一三六)に再興して禅(曹洞)宗に改められたとされています。一般にはツツジの名所として知られ、四月には三万五千株のツツジが咲き乱れます。また、園内には細川藩お預けとなった大石良雄ら十七人の赤穂義士の遺髪塔もあり、見どころの多い寺です。

竜王山古墳から雲仙寺を経て、「肥後富士」の別称がある美しい震(ゆるぎ)岳を見ながら歩くと金比羅宮に着きます。境内は静けさの中に神秘さを漂わせ、奥には御堂が、近くの洞穴には石像が二体安置され近隣の人々の信仰の深さが偲べれます。

更に歩くとダイナミックな景観の不動岩が見えます。前不動、中不動、後不動と称され、震岳から不動岩、更に日の岡に連なるさまは疲れを忘れるほど素晴らしいものです。

コースは、清正時代に造られた蒲生池を経て、名物ウチワと共に日本一のプリンスメモンの産地、鹿本町が終点(起点)になっています。